

徳島県農林水産基本計画レポート (概要版)



I 競争力ある力強い農業の実現

方向性

- ・ 施設整備やブランド力の強化による農畜産物の生産拡大
- ・ 情報発信の強化と食育活動の展開による地産地消の推進
- ・ 生産基盤の整備と担い手への農地の集積による農地の有効利用

農畜産物の生産力強化

野菜の作付面積拡大(累計)
H23現状:—
H28目標:1,000ha
H26実績:580ha

- ◆ 「野菜増産プロジェクトチーム」の活動強化による野菜の生産拡大
 - ・ 地域にあった「増産モデル」の展開や需要に対応した産地づくりの推進
- ◆ 畜産物の生産拡大とブランド力強化
 - ・ 阿波牛・阿波ポーク・阿波尾鶏の増産
 - ・ 「阿波とん豚」の供給体制の確立

1,000ha拡大を目指してレタスや
ブロッコリーの増産に向けた取組実施

野菜の生産拡大の取組



畜産物の生産拡大と
ブランド力強化



食育・地産地消の推進

地産地消協力店数(累計)
H23現状:250店
H28目標:300店
H26実績:302店

- ◆ 地産地消の推進
 - ・ 地産地消協力店の登録拡大や産直市の魅力アップ
 - ・ 病院、福祉施設給食への地元産農畜水産物の供給体制の構築
- ◆ 食育の推進
 - ・ 「新鮮 なっ! とくしま」号を活用した食育フェアの開催
 - ・ 「サラダ元気日曜日 野菜サラダレシピ集」の作成

病院・福祉施設
での県産品供
給モデル事業
試食会

病院・福祉施設への地元産
農畜水産物の利用拡大



「四国産直市88スタンプラリー」
キャンペーン



食育フェアの開催



生産基盤の整備と保全

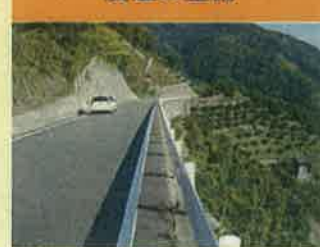
ほ場の整備面積(累計)
H23現状:6,694ha
H28目標:6,820ha
H26実績:6,828ha

- ◆ 優良な農業生産基盤の整備
 - ・ 地域の実情にあったほ場整備や農道、
用排水路など農業生産基盤整備の推進
- ◆ 担い手への農地の集積
 - ・ 「農地中間管理機構」を活用し、法人や規模拡大農家などの
多様な担い手への農地集積を促進

ほ場整備の推進
農業生産性の向上



農道の整備



耕作放棄地の再生



Ⅱ 次世代林業の展開

方向性

- ・「次世代林業プロジェクト」の展開による県産材生産量・消費量の倍増
- ・「徳島すぎ」の新たな用途開発による県産材の新規需要開拓
- ・事業者や県民との連携・協働による森林づくりの推進

林業及び木材産業の振興

◆次世代林業プロジェクトの展開

- ・先進林業機械の導入(累計50セット)
- ・搬出間伐や作業道開設の高度な技能を備えた林業プロフェッショナル養成
- ・県産材を効率的に加工する製材加工施設等の整備に対する支援
- ・県産材の木造公共施設及び木造住宅への利用や海外輸出への支援
- ・製材事業者による新たな製品開発や、「徳島すぎ」の利用拡大の支援

先進林業機械導入数(累計)
H23現状:34セット
H28目標:50セット
H26実績:50セット

先進林業機械システム



徳島すぎと構造用MDFによる充腹梁



新用途開発
(木造老人福祉施設)



優良な生産基盤の整備及び保全

◆林道・作業道の整備

- ・高性能林業機械による搬出間伐に必要な林道と作業道等の路網を複合的に整備

◆間伐等施業の集約化

- ・持続的な森林利用を図るため、森林経営計画の策定を推進
- ・間伐等施業の集約化に必要な森林境界を明確化

地域で取り組む森林境界明確化面積
(累計)
H23現状:2,218ha
H28目標:30,000ha
H26実績:22,388ha

林道と作業道の複合路網



森林境界明確化



環境に配慮した林業の推進

◆適切な森林整備

- ・森林環境保全のため、除伐や間伐等を実施

◆協働による森林づくり

- ・「カーボン・オフセット」の考え方を導入した、個人や企業からの寄附金を活用した本県独自の森林づくりを推進

協働の森づくり企業・団体数(累計)
H23現状:73企業・団体
H28目標:120企業・団体
H26実績:111企業・団体

協働の森づくり



森林の整備による多様な森林



Ⅲ 活力ある水産業の再生

方向性

- ・ 首都圏での販路拡大などによる一層のブランド化・消費拡大
- ・ 養殖わかめの増産対策及び天然海藻資源の有効利用の促進
- ・ 生産性の高い漁港・漁場の整備を推進

水産業の振興

- ◆ 県産水産物の消費拡大
 - ・ 「徳島の活體料理 味わいキャンペーン」などの取組の実施
- ◆ 「わかめ」の増産及び「養殖ひじき」の産地創出
 - ・ 新たに海藻養殖業に参入する漁業者への支援の実施
- ◆ 水産資源の維持・増大の促進
 - ・ アワビ、クルマエビ及びアユ種苗の生産及び放流

「日本三大はも祭」や首都圏において県産はもをPR

アワビ種苗放流個数(累計)
H23現状: 341千個
H28目標: 1,200千個
H26実績: 1,133千個

徳島の活體料理 味わいキャンペーン



種苗の放流



優良な生産基盤の整備及び保全

- ◆ 漁港整備の推進
 - ・ 防波堤の整備や改良を実施
- ◆ 漁港施設の長寿命化, 更新コストの平準化・縮減
 - ・ 漁港施設の老朽化状況を調査し, 計画的に機能保全工事を実施

機能保全工事実施漁港数(累計)
H23現状: 1箇所
H28目標: 5箇所
H26実績: 4箇所

漁港の整備



機能保全工事



環境に配慮した水産業の推進

- ◆ 藻場の造成
 - ・ 産卵場や幼稚魚の育成場として重要な藻場の造成
- ◆ 掃海活動の実施
 - ・ 漁場機能の回復と漁場環境の保全のための掃海活動を実施

藻場造成箇所数(累計)
H23現状: 12箇所
H28目標: 20箇所
H26実績: 17箇所

掃海実施面積(累計)
H23現状: 188km²
H28目標: 330km²
H26実績: 275km²

藻場の造成



掃海活動



IV 新成長ビジネスの展開

方向性

- ・情報発信力の強化による「ブランド力の加速的向上」
- ・6次産業化や農工商連携による「新農業ビジネスの創出」
- ・輸出拡大の促進による「海外における新市場開拓」

ブランド化の推進

◆ひろがる「とくしまブランド」戦略事業

- ・「ブランド産地」の育成, 「とくしま特選ブランド」の登録
- ・「vs東京」の一環として, 「徳島ブランドの食材」の魅力を都営バスのラッピングにより発信。
- ・「すだちくん」を積極的に活用した全国プロモーションの推進

「とくしま特選ブランド」登録数(累計)

H23現状: 11商品
H28目標: 40商品
H26実績: 39商品

「食の宝島とくしま」
プロモーションin東京



「vs東京」都営ラッピングバス



6次産業化の推進

◆6次産業化の促進

- ・「6次産業化サポートセンター」などのサポート体制による6次産業化の推進
- ・マッチング商談会等の開催による販路開拓の支援

◆農工商連携

- ・徳島大学と連携した「農工商連携スタディーズ」(30回講師派遣)による農工商連携に通じた人材育成の推進

徳島ビジネスチャレンジメッセ等新農業ビジネス出展数

H23現状: 32出展
H28目標: 50出展
H26実績: 70出展

6次産業化による商品開発事業数(累計)

H23現状: 16件
H28目標: 60件
H26実績: 58件

6次化商品



大都市圏における展示商談会



海外への販路拡大

◆輸出戦略強化対策

- ・輸出戦略の改定(H27. 3)
(「欧米」や「東南アジア」の国を新規輸出開拓国等に追加)
- ・欧州の国際見本市への県産かんきつ類等の出展支援
- ・四国4県・関西広域連合などの「産地間連携」の推進

農林水産物等輸出金額

H23現状: 1.1億円
H28目標: 3.6億円
H26実績: 3.9億円

「とくしまブランド」輸出相手先国・地域数

H23現状: 5ヶ国・地域
H28目標: 10ヶ国・地域
H26実績: 10ヶ国・地域

SIAL2014 (パリ)



Sirha2015 (リヨン)



V 次代を担う人材の育成

方向性

- ・ 経営感覚に優れ、グローバル化にも対応できる農業人材の育成・確保
- ・ 高度な林業技術者や優れた経営管理者など、総合的な人材の育成・確保
- ・ 柔軟な発想や優れた経営感覚を持つ漁業人材の育成・確保

農業の担い手育成及び確保

◆新規就農者の確保

- ・ 青年就農給付金による就農前後の所得支援
- ・ 県外都市部の大学生を「インターンシップ」として受入れ
- ・ 新規就農者へのマンツーマン指導による定着支援

◆経営感覚に優れた農業人材の育成

- ・ 「アグリビジネススクール」における法人化・6次産業化講座の実施
- ・ 農業大学校から4年制大学への編入学の実現

新規就農者数(累計)
H23現状: 599人
H28目標: 1,200人
H26実績: 934人

アグリビジネススクール



インターンシップ



林業の担い手育成及び確保

◆高度な林業技術者、事業管理者等の育成

- ・ 初級者から上級者に至るステップアップ研修方式による「林業プロフェッショナル」の育成

◆林業への新規参入の促進

- ・ 本格参入に向けた経営管理研修等の実施
- ・ 建設業者等の林業参入を支援する林業事業体登録の推進

新規林業就業者数(累計)
H23現状: 175人
H28目標: 240人
H26実績: 228人

森林の仕事ガイダンス
(東京会場)



林業技術研修



漁業の担い手育成及び確保

◆「漁業人材育成プログラム」の推進

「時代の潮流に対応出来る経営感覚に優れた漁業者」を育成

- ・ 受講者の漁業習熟度や意欲に応じた段階的な研修プログラムの実施
- ・ 大阪市場におけるインターンシップの開催
- ・ 科学技術高校生に向けた「入門プログラム」の開催

新規漁業就業者数(累計)
H23現状: 149人
H28目標: 240人
H26実績: 213人

水産現場研修



現役漁業者に向けた
実践プログラムの開催



VI 豊かな農山漁村の創造

方向性

- ・ 自然エネルギーの導入促進による農山漁村の活性化
- ・ 地域への支援による総合的な鳥獣被害防止対策の推進
- ・ 中山間地域等直接支払制度等による中山間地域等への支援

自然エネルギーの導入

◆農山漁村への自然エネルギーの導入

- ・ 耕作放棄地や土地改良施設用地を利用した太陽光発電施設の導入を支援
- ・ ダムの放流水や農業用水を活用した小水力発電の推進
- ・ 木質バイオマス（チップ・薪）ボイラーの整備

補助事業を活用した再生可能エネルギーの導入地区数(累計)

H23現状:—
H28目標:10地区
H26実績:6地区

バイオマス利活用モデル地区数(累計)

H23現状:18地区
H28目標:23地区
H26実績:30地区

夏子ダム小水力発電



燃料チップ製造施設



鳥獣被害対策の推進

◆鳥獣被害対策の推進

- ・ 追い払いや捕獲等の活動及び侵入防止柵の整備など、市町村等が実施する総合的な被害防止対策を支援

◆地域協議会への支援

- ・ 集落ぐるみで総合的な対策を実施するモデル集落を育成

◆ジビエの普及

- ・ 「阿波地美栄(あわじびえ、県産獣肉)」の需要拡大に向けたPR活動の実施

集落等で取り組む鳥獣被害防止施設等の整備件数(累計)

H23現状:474件
H28目標:850件
H26実績:1,212件

侵入防止柵(複合型)



「うまいよ!ジビエ料理店」



中山間地域等の支援・保全

◆中山間地域等直接支払事業の推進

- ・ 耕作放棄地の発生防止・多面的機能の確保のため中山間地域等における農業生産活動を支援

◆森林を守る取組の推進

- ・ 「徳島森林づくり推進機構」の開設
- ・ 「徳島県県有林化等推進基金」の創設

「中山間地域等直接支払制度」で地域農業を支える体制づくりに取り組んだ集落数(累計)

H23現状:157集落
H28目標:164集落
H26実績:168集落

中山間地域等直接支払制度の共同活動(地元小学生に対する農作業体験学習)



「徳島森林づくり推進機構」開所



Ⅶ 災害に強い農林水産業の確立

方向性

- ・ 「農業版BCP」の策定・実践による津波・塩害からの農業復興に向けた課題と対策を整理
- ・ 自然災害に強い農山漁村づくりによる安全で快適な生活環境の整備
- ・ 獣医療体制の確保による家畜伝染病防疫体制の強化

農業版BCPの策定・実践

都道府県レベル
では全国初！

◆農業版BCP策定

- ・ 農業版BCPを第3版として改訂し、内容を充実
実効性向上に向けた実地訓練の実施

◆地籍調査の加速化

- ・ 「津波浸水被害関連」地域などの防災・減災関連エリアに
おける地籍調査の促進(H26実績:33%)

農業版BCP

平成25年6月策定
平成25年11月改訂
平成26年11月改訂

更なる内容の充実・強化！

現場での実地訓練

除塩試験の結果

宮城への派遣職員の意見

地籍調査の加速化！

実地訓練(除塩作業)



自然災害に強い農山漁村の整備

◆自然災害への対応

- ・ 治山施設等の整備による人家・公共施設等の保全
- ・ 老朽化した農業用ため池の整備
- ・ 南海トラフ地震などに備えた海岸保全施設の整備
- ・ 保安林整備の推進

緊急輸送路を補完する農林道の整備延長
(累計)

H23現状: 11km
H28目標: 19km
H26実績: 19km

人家・公共施設等の保全



山地ヘルパーの活動



家畜伝染病防疫体制の強化

◆家畜伝染病防疫体制の強化

- ・ 家畜伝染病の県内発生に備え、防疫演習や研修会等を実施
- ・ 「日本野鳥の会」徳島支部との連携等による監視体制の強化
- ・ 複数農場における発生に備えた備蓄資材の拡充

家畜伝染病発生に備えた
防疫演習・研修会等の実施

H23現状: 9回
H28目標: 10回
H26実績: 10回

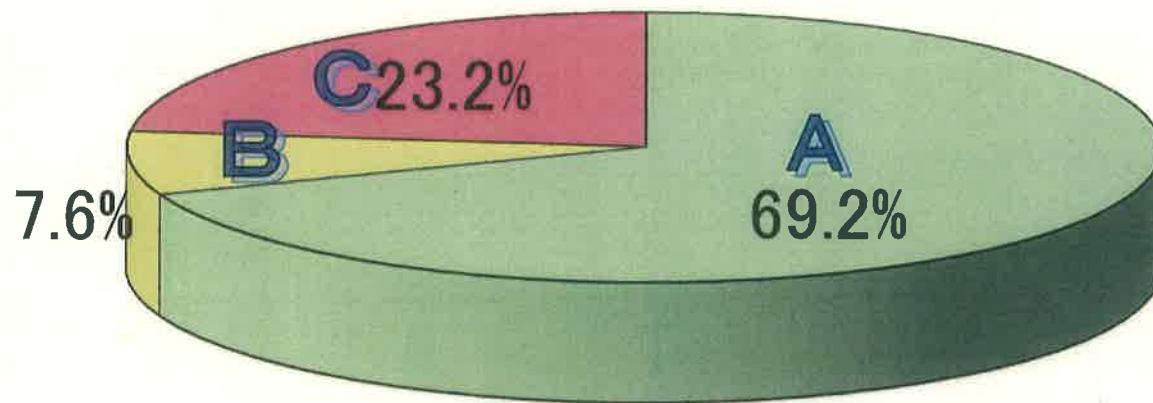
発生させない！
持ち込ま
せない！

防疫演習の実施



農林水産基本計画 行動目標の達成状況

目標達成見込割合



A+B

76.8 %

評価項目 : 224項目(行動目標240項目のうち, 8月末時点で評価可能なもの)

- | | |
|-----------------------|----------|
| A : 目標を達成する見込みであるもの | (155項目) |
| B : 目標をほぼ達成する見込みであるもの | (17項目) |
| C : 上記以外 | (52項目) |